

1 法人の概要

代表者職氏名	代表取締役 伊藤 富彦	所管部課名	農林水産部畜産振興課
所在地	秋田市河辺神内字堂坂2-1	設立年月日	昭和53年6月6日
電話番号	018-882-2161	ホームページ	http://www.akitasmile.com/
主な出資 (出捐)者	出資(出捐)者名	出資(出捐)額(千円)	出資(出捐)比率(%)
	秋田県	445,710	33.8%
	全国農業協同組合連合会	378,490	28.7%
	独立行政法人農畜産業振興機構	320,000	24.2%
	その他25市町村4団体	175,500	13.3%
	合計	1,319,700	100.0%
設立目的	秋田県における肉畜及び食肉流通の合理化を図り、もって畜産農家経済の発展と県民生活の向上に寄与することを目的に設立		
事業概要	①肉畜の集荷、と殺、解体 ②枝肉及び副産物の買い取り並びに受託処理加工 ③食肉及び副産物の加工並びに貯蔵販売 ④前各号に付帯する一切の事業		
事業に関連する法令、県計画	と畜場法、食品衛生法		

2 H26年度事業実績(前年度評価を踏まえた取組内容を含む。)

県内で発生した家畜の感染症(PED)によりと畜及びカット頭数が事業目標を下回る結果となった。また、電気料金の値上げによる費用が前年度比10,000千円以上の増となったことなどから、26年度事業実績は当期純損失1,498千円となった。一方、旧式設備の更新投資については、経営を圧迫しない範囲で主要設備の更新・改修を行ったが、老朽化等による設備の機能低下が課題となっている。

<事業目標>

項目	区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
と畜頭数(豚換算：頭)	目標	177,450	180,450	181,600	182,750
	実績	171,756	181,440	170,528	-
カット頭数(豚換算：頭)	目標	82,000	89,500	91,000	92,500
	実績	81,101	89,868	85,461	-
顧客満足度指数	目標	87	87	87	90
	実績	-	88	92	-

3 組織

①役員数(H27.7.1現在) (単位：人)

区分	取締役		監査役		役員報酬 (H26年度)
	H26	H27	H26	H27	
常勤	3	3	1	1	支給対象者 (H26年度) 4人 平均年齢 59歳 平均報酬年額 (H26年度) 6,150千円
内、県退職者		1			
内、県職員					
非常勤	7	7	2	2	
内、県退職者					
内、県職員					
計	10	10	3	3	
内、県関係者		1			

②職員数(H27.4.1現在) (単位：人)

区分	H26	H27	正職員 平均年齢 43.0歳 平均勤続年数 17.2年 平均年収 (H26年度) 4,083千円
正職員	53	51	
内、県退職者			
出向職員	2	2	
内、県職員			
臨時・嘱託	5	6	
内、県退職者			
計	60	59	
内、県関係者			

③取締役会回数

H25	H26
5	6

4 財務

①損益計算書 (単位：千円)

区分	平成25年度	平成26年度
売上高	8,175,722	8,572,515
売上原価	7,806,262	8,195,116
売上総利益	369,460	377,399
販売費及び一般管理費	366,206	379,122
人件費(売上原価含む)	341,600	332,451
営業利益(損失)	3,254	△1,723
営業外収益	20,435	12,140
営業外費用	117	223
経常利益(損失)	23,572	10,194
特別利益	140	129
特別損失	309	
法人税、住民税・事業税	16,684	11,821
当期純利益(損失)	6,719	△1,498

②貸借対照表 (単位：千円)

区分	平成25年度	平成26年度
流動資産	946,252	878,451
固定資産	669,527	677,953
資産計	1,615,779	1,556,404
流動負債	211,472	158,912
短期借入金		
固定負債	130,219	124,903
長期借入金		
負債計	341,691	283,815
資本金	1,319,700	1,319,700
利益剰余金等	△45,612	△47,111
純資産計	1,274,088	1,272,589
負債・純資産計	1,615,779	1,556,404

(単位：千円)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率(%)
	189,457	91,443	48.3%

<主な経営指標>

項目	算式	平成25年度	平成26年度	H25-26増減
経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	100.3%	100.1%	△0.2%
流動比率	流動資産÷流動負債×100	447.5%	552.8%	105.3%
自己資本比率	純資産計÷負債・純資産計×100	78.9%	81.8%	2.9%
有利子負債比率	有利子負債÷純資産計×100			

5 県の財政的関与の状況

(単位：千円)

区分	平成25年度	平成26年度	支出目的・対象事業概要等
年間支出	2,688	3,078	秋田県産牛肉の放射性物質検査に係るかつリング等業務委託他
貸付金			
損失補償			
その他の財政支出(基金等)			

I 自己評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 県内における食の安全・安心の確保だけでなく、秋田牛ブランドの推進にも重要な役割を果たしてきた。	A 会社法に遵守した組織体制（取締役会・監査役会・会計監査人）となっている。	B 秋田県で家畜の感染症（PED）が発生したことで、事業実施目標を下回った。	A 累積欠損金は設立当初の稼働率が低い年度のものである。近年は外的要因がない限り単年度黒字が続いている。

II 所管課評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B 全県の畜産農家が生産した牛・豚のと畜・解体を行い、県民を始めとする消費者に衛生的で安全・安心な食肉を提供するという広域性・公共性の高い役割を担うとともに、秋田牛ブランドの推進など、県の畜産振興施策を具現化する重要なパートナーである。	A 事業の執行に必要な常勤の役員・職員が確保されているとともに、取締役会の適正な開催を始め、安定した法人運営に必要な組織体制は十分に整備されている。	B 県内の家畜飼養頭数や食肉の需給・相場の動向を把握・分析した上で、処理頭数や販売額等について、適切に目標を設定している。 26年度については、全国的に流行した豚の伝染病(PED)が県内でも発生したため、処理・販売頭数が大幅に落ち込み、目標を達成することができなかった。	A 26年度末時点での累積欠損金が47百万円となっているが、近年は東日本大震災やPEDの発生など、外的要因が無い限りは単年度黒字を達成しており、累積欠損金も設立当初の1/10程度に減少しているなど、財務状況は概ね安定している。

III 外部専門家のコメント

<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高は前期比増収となっているが高値相場によるものであり、処理・販売頭数はPEDの影響で減少している。</li> <li>・当期利益は赤字だが、税金費用が税前利益を上回ったことによるものであり、税前ベースでは10,322千円の黒字であった。</li> </ul>
---

IV 委員会評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B 三セクの行動計画では、設立支援（出資）の目的を既に達成し非三セク化を目指す法人に位置付けられているが、と畜場法に基づくと畜場として、公衆衛生に一定の役割を持つことから、引き続き、衛生的で安全・安心な食肉を提供していくことが求められる。	A 適切であると認められる。	B 生産者の高齢化や飼料価格の高止まりなど、畜産を取り巻く情勢が厳しさを増す中、いかに集荷頭数を確保していくかが大きな課題である。	B 施設の老朽化が大きな課題となっている。機械設備等の更新を計画的に進め減価償却費や修繕費の発生を慎重にコントロールすることで、引き続き、累積債務を確実に解消していくことが求められる。

OH27年度重点取組法人に 選定 する・しない